

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	国家試験演習VI		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (3) 時間(単位)
対象学年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	406号室
担当教員	石橋康信、OT教員	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
作業療法士国家試験合格に向けて、基礎医学・臨床医学・基礎作業療法学の知識をベースに身体障害領域・精神障害者領域・発達障害領域について過去10年分の出題問題から傾向をつかみ理解を深めていく。						
《成績評価の方法と基準》						
期末試験96%、態度(出席、授業態度、準備等)4%で評定						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書・参考書: 国試の達人 作業療法編 (アイペック)、国試の達人 臨床医学編 (アイペック)、PT/OT国家試験必修ポイントシリーズ (医歯薬出版)						
《授業外における学習方法》						
授業を理解するために予習・復習を通して自主的に調べ学習をすること。						
《履修に当たっての留意点》						
自己課題分析のため、復習すること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。		教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 シラバスを読む。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)	
	各コマにおける授業予定	骨・関節系障害領域 関節リウマチについて理解できる。				
第2回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。		教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)	
	各コマにおける授業予定	骨・関節系障害領域 変形性関節症・頸髄症について理解できる。				
第3回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。		教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)	
	各コマにおける授業予定	骨・関節系障害領域 骨折について理解できる。				
第4回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。		教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)	
	各コマにおける授業予定	骨・関節系障害領域 外傷・損傷・上肢関節障害について理解できる。				
第5回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。		教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)	
	各コマにおける授業予定	骨・関節系障害領域 上腕切断について理解できる。				

授業の方法		内容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)
	各コマにおける授業予定	中枢神経系障害領域 脳血管障害について理解できる。		
第7回	講義 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)
	各コマにおける授業予定	中枢神経系障害領域 脳血管障害について理解できる。		
第8回	講義 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)
	各コマにおける授業予定	中枢神経系障害領域 脳血管障害について理解できる。		
第9回	講義 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)
	各コマにおける授業予定	中枢神経系障害領域 高次脳機能障害について理解できる。		
第10回	講義 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)
	各コマにおける授業予定	中枢神経系障害領域 パーキンソン病について理解できる。		
第11回	講義 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)
	各コマにおける授業予定	中枢神経系障害領域 小脳障害、延髄障害について理解できる。		
第12回	講義 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)
	各コマにおける授業予定	中枢神経系障害領域 多発性硬化症について理解できる。		
第13回	講義 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)
	各コマにおける授業予定	中枢神経系障害領域 ALSについて理解できる。		
第14回	講義 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)
	各コマにおける授業予定	中枢神経系障害領域 脊髄損傷について理解できる。		
第15回	講義 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)
	各コマにおける授業予定	神経筋系障害領域 ギランバレー症候群について理解できる。		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	国家試験演習VI		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (3) 時間(単位)
対象学年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	406号室
担当教員	石橋康信、OT教員	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
作業療法士国家試験合格に向けて、基礎医学・臨床医学・基礎作業療法学の知識をベースに身体障害領域・精神障害者領域・発達障害領域について過去10年分の出題問題から傾向をつかみ理解を深めていく。						
《成績評価の方法と基準》						
期末試験96%、態度(出席、授業態度、準備等)4%で評定						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書・参考書: 国試の達人 作業療法編 (アイペック)、国試の達人 臨床医学編 (アイペック)、PT/OT国家試験必修ポイントシリーズ (医歯薬出版)						
《授業外における学習方法》						
授業を理解するために予習・復習を通して自主的に調べ学習をすること。						
《履修に当たっての留意点》						
自己課題分析のため、復習すること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。		教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)	
	各コマにおける授業予定	神経筋系障害領域 筋ジストロフィーについて理解できる。				
第17回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。		教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)	
	各コマにおける授業予定	神経筋系障害領域 末梢神経障害の分類について理解できる。				
第18回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。		教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)	
	各コマにおける授業予定	神経筋系障害領域 末梢神経障害の分類について理解できる。				
第19回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。		教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)	
	各コマにおける授業予定	内部領域 循環障害について理解できる。				
第20回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。		教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)	
	各コマにおける授業予定	内部領域 呼吸系障害について理解できる。				

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)
	各コマにおける授業予定	内部領域 代謝系障害について理解できる。		
第22回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)
	各コマにおける授業予定	内部領域 老年期障害について理解できる。		
第23回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)
	各コマにおける授業予定	内部領域 その他の内科疾患(癌、膠原病)について理解できる。		
第24回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)
	各コマにおける授業予定	精神障害に対する作業療法介入 精神障害総論について理解できる。		
第25回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)
	各コマにおける授業予定	精神障害に対する作業療法介入 精神科集団作業療法について理解できる。		
第26回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)
	各コマにおける授業予定	精神心理障害領域 統合失調症について理解できる。		
第27回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)
	各コマにおける授業予定	精神心理障害領域 統合失調症について理解できる。		
第28回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)
	各コマにおける授業予定	精神心理障害領域 気分障害について理解できる。		
第29回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)
	各コマにおける授業予定	精神心理障害領域 気分障害について理解できる。		
第30回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)
	各コマにおける授業予定	精神心理障害領域 神経性障害・ストレス関連障害および身体表現性障害について理解できる。		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	国家試験演習VI		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (3) 時間(単位)
対象学年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	406号室
担当教員	石橋康信、OT教員	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
作業療法士国家試験合格に向けて、基礎医学・臨床医学・基礎作業療法学の知識をベースに身体障害領域・精神障害者領域・発達障害領域について過去10年分の出題問題から傾向をつかみ理解を深めていく						
《成績評価の方法と基準》						
期末試験96%、態度(出席、授業態度、準備等)4%で評定						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書・参考書: 国試の達人 作業療法編 (アイペック)、国試の達人 臨床医学編 (アイペック)、PT/OT国家試験必修ポイントシリーズ (医歯薬出版)						
《授業外における学習方法》						
授業を理解するために予習・復習を通して自主的に調べ学習をすること。						
《履修に当たっての留意点》						
自己課題分析のため、復習すること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第31回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。		教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)	
	各コマにおける授業予定	精神心理障害領域 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候について理解できる。				
第32回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。		教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)	
	各コマにおける授業予定	精神心理障害領域 パーソナリティ障害および行動の障害について理解できる。				
第33回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。		教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)	
	各コマにおける授業予定	精神心理障害領域 てんかんについて理解できる。				
第34回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。		教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)	
	各コマにおける授業予定	精神心理障害領域 症状を含む器質性精神障害について理解できる。				
第35回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。		教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)	
	各コマにおける授業予定	精神心理障害領域 アルコール依存症・薬物依存症について理解できる。				

授業の方法		内容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第36回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)
	各コマにおける授業予定	運動発達障害領域 脳性麻痺について理解できる。		
第37回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)
	各コマにおける授業予定	運動発達障害領域 ダウン症候群について理解できる。		
第38回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)
	各コマにおける授業予定	運動発達障害領域 重症心身障害児について理解できる。		
第39回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)
	各コマにおける授業予定	運動発達障害領域 二分脊椎について理解できる。		
第40回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)
	各コマにおける授業予定	精神心理発達障害領域 知的障害について理解できる。		
第41回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)
	各コマにおける授業予定	精神心理発達障害領域 自閉症スペクトラム障害について理解できる。		
第42回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)
	各コマにおける授業予定	精神心理発達障害領域 注意欠如・多動性障害について理解できる。		
第43回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)
	各コマにおける授業予定	精神心理発達障害領域 障害児療育・感覚統合的アプローチを理解できる。		
第44回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 クエスチョン・バンクを使用した予習。(20分) 事後学習 国試過去問を解き理解する。(40分)
	各コマにおける授業予定	まとめ 今までの復習を行い振り返りをする。		
第45回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	① 専門分野の学力向上と理解を深めることができる。 ② 実地問題における理解・解釈ができる。	教科書、学習単元に関連した科目の教科書	事前学習 これまでの振り返り。(30分) 事後学習 まとめ学習。(30分)
	各コマにおける授業予定	まとめ 今までの復習を行い振り返りをする。		